

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	理学療法治療学(運動器疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	機能訓練室
担当教員	可成 孝多	実務経験とその関連資格	理学療法士として臨床現場で多くの整形外科疾患に理学療法を実施した			
《授業科目における学習内容》						
骨・関節・神経・筋繊維などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術療法、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科的観点から学習する。これらを通じて、理学療法を实践する上で必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
① 松野丈夫、他「標準整形外科学 第15版」医学書院 ② 島田洋一、他「運動器疾患の治療とリハビリテーション」メディカルビュー ③ プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版(2017.1刊) 医学書院						
《授業外における学習方法》						
整形外科領域における疾患についての自己学習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目が臨床及び国家試験の出題範囲においても非常に多い学問です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	① 運動器における外傷障害の病態及び治療を理解する	指定テキスト	事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 講義の振り返り	
		各コマに おける 授業予定	整形外科治療学の概要を知る			
第2回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :肩周辺の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマに おける 授業予定	肩甲帯周囲(筋・骨格系)解剖学を理解する			
第3回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患(骨折) 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマに おける 授業予定	上肢の代表疾患(骨折系)について知る			
第4回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :上肢疾患(関節系) 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマに おける 授業予定	上肢の代表疾患(関節・軟部組織系)について知る			
第5回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :肩甲骨の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマに おける 授業予定	肩甲帯の機能評価			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 肩甲骨の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	肩甲帯の機能評価②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 治療クリニカルパス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	上肢疾患の理学療法プログラム立案ができる		
第8回	講義演習形式	各コマにおける授業予定	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	上肢疾患の理学療法プログラム発表をする		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 股関節の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節周囲(筋・骨格系)解剖学を理解する		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 股関節骨折系 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節の代表疾患(骨折系)について知る		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 股変形性関節症 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節の代表疾患(骨・軟骨障害系)について知る		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 股関節機能評価 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節疾患の機能的評価		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 治療クリニカルパス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節疾患の理学療法プログラム立案ができる		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	股関節疾患の理学療法プログラム発表をする		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	①-②について理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 1回-14回まで振り返り 事後学習(30分) まとめ
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学1-A-整形疾患		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	可成 孝多	実務経験と その関連資格	理学療法士として臨床現場で多くの整形外科疾患に理学療法を実施した			
《授業科目における学習内容》						
骨・関節・神経・筋繊維などの運動器に発生する主な外傷と障害について、病態生理、症状、理学所見、診断法、予後、保存・手術療法、さらにリハビリテーション医療への展開について、整形外科的観点から学習する。これらを通じて、理学療法を实践する上で必要となる整形外科疾患の基礎知識と治療概念を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
① 松野丈夫、他「標準整形外科学 第15版」医学書院 ② 島田洋一、他「運動器疾患の治療とリハビリテーション」メディカルビュー ③ プロメテウス解剖学アトラス解剖学総論/運動器系 第3版(2017.1刊) 医学書院						
《授業外における学習方法》						
整形外科領域における疾患についての自己学習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目が臨床及び国家試験の出題範囲においても非常に多い学問です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する		指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 膝周囲の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
	各コマにおける授業予定	膝関節周囲(筋・骨格系)解剖を理解する				
第17回	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する		指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 膝周囲の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り	
	各コマにおける授業予定	膝関節周囲(筋・骨格系)解剖を理解する②				
第18回	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する		指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 膝関節骨折 事後学習(30分) 講義の振り返り	
	各コマにおける授業予定	膝関節の代表疾患(骨折系)について知る				
第19回	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する		指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 膝変形性関節症 事後学習(30分) 講義の振り返り	
	各コマにおける授業予定	膝関節の代表疾患(骨・軟骨障害系)について知る				
第20回	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する		指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む : 半月版・靭帯損傷 事後学習(30分) 講義の振り返り	
	各コマにおける授業予定	膝関節の代表疾患(関節・軟部組織系)について知る				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :機能評価 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	膝関節疾患の機能評価		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :治療クリニカルパス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	膝関節疾患の理学療法プログラム立案ができる		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	② 上肢・下肢の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	膝関節疾患の理学療法プログラム発表をする		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	③ 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :脊椎の解剖 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊椎解剖を理解する		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	③ 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :椎体骨折・ヘルニア等 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊椎の代表疾患について知る		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	③ 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :機能的評価 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊椎疾患の機能的評価		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	③ 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :治療クリニカルパス 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊椎疾患の理学療法プログラム立案ができる		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	③ 脊椎・体幹の外傷障害の病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	脊椎疾患の理学療法プログラム発表をする		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	④ 関節リウマチの病態と治療を理解する	指定テキスト	事前学習(30分) 指定テキストを読む :リウマチ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	関節リウマチの病態と理学療法		
第30回	講義 形式	授業を通じての到達目標	②-④について振り返り、理解と説明ができる	指定テキスト	事前学習(30分) 16回-29回まで振り返り 事後学習(30分) まとめ
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		